

あなたに
はつまつ子

リレーエッセー⑤

年寄り親子とであいの道



なすみ おさむ
泥 治 さん
(野 添)

趣味 自分史を手づくりするのを楽しんでいます。

喜瀬川に架かるふるさと橋のたもとに地に住んでもう五十年余になる。あのマツチ箱のような別府鉄道車両が、田園風景の中を、ごっこんごっこんからだをゆさぶって走っていたのを思い出す。その鉄路も今はすっかり様変わりし、「であいの道」と称され、近隣の人たちに愛される緑道、百花園の道に変貌した。

め、「気持ちええ道やなあ。ありがたいうちや」と喜んだ。ハナミズキ、サクラの花が咲きほこる色彩豊かな季節は、このほかに喜んだ。また夕暮れ時、ふるさと橋から眺める夕陽に映えた五重の塔(圓満寺)や西空を真っ赤に染めて沈む大きな太陽、浅瀬に遊ぶカモの姿は父の心を和ませた。わたしは年寄り親子に安らぎと対話を与えてくれた。

いたらええのに」と言ったりしたものだ。わたしは同様、この道を歩かれる年寄りも多い。白い杖をつき娘さんに付き添われ歩かれる目の不自由なお年寄り、履いたスニーカーに似合わず、とんぼりとんぼり歩かれるお年寄りの女性。この道へ出てくることを日課にされている常連の方もおられ、時間帯によってはいつもの顔がベンチにたむろし雑談される。平和そのものである。時にはこちらも輪に入る。「こ兄弟ですか?」「へえ、九十六歳、参った、参った、わたしはまだヒヨコですな」と会話は弾む。

少年サポートセンターは、少年の凶悪事件が続発する一方で、不登校児童生徒が増加するなど多様化した少年問題に対応するために平成11年4月に発足しました。短絡的な動機、罪悪感の欠如、突然発症型といった最近の少年非行の傾向に対応して少年が飲酒、喫煙などの不良行為にある段階で適切な対応を考える機関です。

「東播少年サポートセンター」をご存じですか?

指導主事 正木 正宣
部少年課の警察官と少年補導職員が行っています。専門的な知識が必要な場合には、臨床心理士や精神科医、弁護士など専門家のアドバイスを受けながら相談に応じています。秘密やプライバシーは厳守してくださいませので安心してご相談いただけます。一人で悩まないで、相談してみませんか。
兵庫県下には10カ所の少年サポートセンターがあります。東播少年サポートセンターがあります。
所在地 加古川市野口町良野374の3
電話 0794(54)3364
受付時間 平日午前9時~午後5時45分

ボクの、私の、晴れ舞台

キューピット保育園



カッコよく決まりました

好天に恵まれた11月16日(土)、幼児音楽フェスティバル関西大会がグリーンアリーナ神戸にて開催され、元気一杯の5歳児が出演しました。今回は、「運命」「白鳥の湖」「新世界」と、今までに演奏したことの無いクラシックに挑戦です。初めて手にする楽器やカラーガードは練習を重ねる度に愛着が湧き、心を一つに奏でるハーモニーの楽しさも知ることができました。本番では、憧れの衣装を身にまとい、立派な鼓笛隊へと変身した子どもたちの演奏が会場中に流れだしました。涙と拍手喝采を浴び、精一杯の力を出し切った皆の顔はたくましく凛々とし、達成感に満ち溢れ、まぶしく光り輝いていました。きつと、鼓笛を通し、やれ、やれと実感し、大きな自信になったことでしょう。

子ども美術展を見に行ったよ!!

蓮池幼稚園



ぼくの作品あるかなあ

11月26日(火) 今日是一年長児と年中児が一緒に子ども美術展を見に行きました。行く途中では「危ないからこっちは通りな」と道の内外をかわつたり、「車来たからストップや」としつかりと見て教えたものと見せていました。

「着くとさっそく、ぼくのあった!!」「ちゃんのかっこいいなあ」と自分の作品や友だちの作品を見て嬉しそうに話をしていました。中学生や小学生の作品を見ると「すごいなあ」「きれいやなあ」と目を輝かせながらじつくりと見ていました。園に帰ると空容器や紙、クレパスなどを持ってきて、「小学生のお兄ちゃんみたいないじゅうつくりたい!!」とさっそく自分たちが感じたことを表現している子どもたちでした。

「播磨っ子デイ」- Let's enjoy Harisho 2. - 地域社会との交流で子どもたちは大喜び 播磨小学校



上手に帯も結べました

播磨小学校では11月22日(金)に、家庭教育研究会の一環として、第2回「播磨っ子デイ」を行いました。学習の名称は「Let's enjoy Harisho 2.」ですが、子どもたちは、保護者・地域住民・教育機関職員などの皆様の指導により、着物の着付けや、Tシャツ・勾玉・ビーズ・とうふづくりなどを行いました。その中で、でき上がった料理に舌鼓を打ったり、手作りの竹とんぼはやたこで遊んだり、楽しく大喜びの日でした。こうした活動を通し、子どもたちは身近な生活の中で、よりよい暮らしをつくっていくのは、何より自分たちの創意・工夫であることとを知ってくれたものと思います。

日本一! 播磨南中陸上部

播磨南中学校

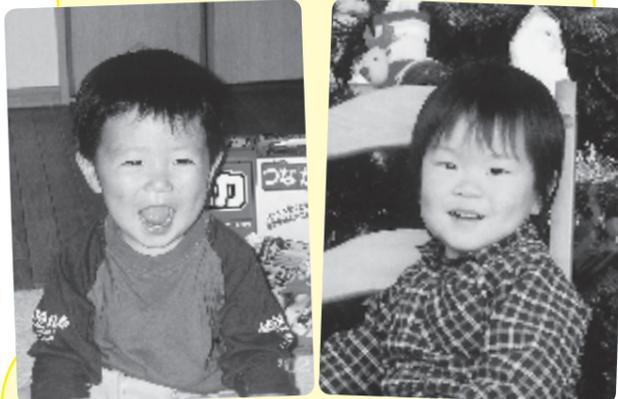


全員集合!

10月27日(日)吉報が届いた。陸上競技部1年中村仁君100mハードルでジュニアオリンピック優勝、2年上田将吾君は110mハードルで8位入賞という好成績を修めた。

今年の8月、全国大会で3年奥村昌平君の7位入賞という快挙が、陸上部員の目標とモチベーションを高めている。このように一年生を率いて、今、つくっているにちがいない。記録がついてくる個人競技と思われがちだが、本当にチーム一丸とならなくては、このような結果は生まれていかなかったかもしれない。レベルの高い先輩の練習を見、日々切磋琢磨している子どもたちと、その子らを導いている顧問の情熱の賜物だろう。翌日から、やはり朝練は続いている。わが南中陸上部。きつと彼らの誇りとなっているだろう。

わんぱくはりまっ子



たからだ しょうき
財田 翔生くん
(2さい)野添
素敵な笑顔をいつまでも大切にね (お母さんより)

おおつじ そうま
大辻 壮真くん
(2さい)野添
お父さんみたいなやさしい人になってね (お母さんより)



このコーナーに出たいだく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象)広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。